

13 子ども企画委員の感想と学生リーダー・アドバイザーの感想

*アンケートから抽出して記載しています。

() は同意見の数です。

子ども企画委員の感想

1. 「子ども☆ミライ会議」に参加した理由を教えてください。

- ・ これまでも参加して、良かったから。(6)
- ・ 過去に何度か参加するなかで、いろいろな人から興味深い意見を聞くことができ、今回も啓発を受けたいと思ったから。
- ・ 日本遺産について、学びたかった(知りたかった)から。(5)
- ・ 楽しそうだった(興味があった)から。(4)
- ・ チラシを見て(4)
- ・ 図書カードがもらえるから。(3)
- ・ 市長・教育長に会えるから。直接意見を伝えられるから。(3)
- ・ 八王子について調べている時に見つけ、ちょうどいいと思って参加した。
- ・ 八王子市をよく知りたいと思ったから。
- ・ 学校の先生から勧められて初めて知り、活動内容を見て面白そうだなと思ったから。
- ・ 社会(地元)に貢献したかったから。
- ・ いろいろなことに挑戦したかったから。
- ・ これからは、大人だけではなく、子どもも意見を言うのが大事だと思ったから。
- ・ 意見が交換でき、話し合いができるから。
- ・ グループごとで、日本遺産について話し合いたかったから。他の学校・学年の人と話をしたかったから。
- ・ 姉がやると言ったから。
- ・ 提案したいことがあったから。

2. どのように「子ども☆ミライ会議」の子ども企画委員募集を知りましたか。

- ・ 学校で配られたチラシ(17)
- ・ 先生からの勧め
- ・ 兄・姉がやっていたから。(3)
- ・ 親から聞いた。親からの勧め(5)
- ・ 広報はちおうじ(3)

3. 「子ども☆ミライ会議」に参加した感想を自由に書いてください。

- ・自分の積極性を鍛えたりすることもできた。友達もでき、また知識も増えたのでとても良かった。
- ・想像以上に楽しく、やりがいがあった。
- ・とても楽しかった。市長の前でしゃべるから緊張したが、周りの人と協力して調べていくうちに楽しくなった。自分なりに活躍することができたから良かった。今回とても満足した。
- ・市長・教育長の前で発表するのは緊張したけれど、やり切れた。他のグループの子が、私が書いた原稿を一生懸命読んでくれてうれしかった。
- ・案外楽しかった。
- ・調べることで、地元をよりよくできたという喜びや、メンバーとともに作った原稿などの地道に頑張ってきた成果が出てよかった！！
- ・日本遺産についてもっと深めることができたので良かったです。
- ・緊張した。色々もらえてうれしかった。
- ・楽しかった。
- ・去年参加したときに職人さんなど本物を体験したいと提案したら、今年物作りのイベントが開催されてとてもすごいと思いました。珍しい体験ができたので、本当にありがとうございました。
- ・市長と直接話すことはあまりないと思うので、貴重な経験だと思った。
- ・初めての会議がとても楽しかった。
- ・自分たちの思ったこと・考えたこと・提案を自由に話し合えて、意見交換し出来てとても楽しかったです。
- ・私たちの意見について、市長・教育長がよく考えてくださり、とても嬉しかったです。
- ・最初に、「子ども☆ミライ会議」に参加してみて、とても楽しい雰囲気だったなと思いました。初めて会う人にも優しく声をかけることができました。グループごとで日本遺産などについて調べることや話すことができました。
- ・発表のときは緊張したけど、いろいろな意見を聞いてよかった。
- ・英語をしゃべるようになって、外国人としゃべれるようになりたい。
- ・子どもが有名な人たちに意見を述べる機会が少なかったので、意見をたくさん言えて良かった。
- ・緊張したけど、楽しかった。
- ・自分たちが出した意見が市長・教育長に届いて嬉しかった。
- ・楽しくできたので良かった。
- ・日本遺産のことについてたくさん知れてよかった。チームの子と協力してできてよかった。

- ・初めてのことがたくさんあって楽しかった！
- ・市長・教育長に発表できて、そのことについて意見が言えてよかった。
- ・グループの人とも交流ができ、日本遺産についてもよく知れてよかった。
- ・勉強になった。緊張した。来年も参加したい。
- ・日本遺産について、いろいろなことが知れて楽しかった。市長や教育長にも提案できていい経験になった。本番でいきなり質問されたときはびっくりしたけど、一応答えられて良かった。
- ・自分たちの意見を発表できる場があって嬉しい。今後も自分たちの意見を発信して、子どもの立場から提案をしたい。
- ・日本遺産について全く知らなかったけど、今回を通して色々知れてよかった。
- ・本番は行けずにすみませんでした。楽しい日々を過ごすことができました。ありがとうございます。
- ・残念ながら2回の企画委員会にしか参加することができず、本番も都合により参加を断念しました。今回は東京たま未来メッセでの発表だったので、とても残念でした。でも、仲間たちとのディスカッションを通して、啓発を受けました。みんなでポスターを作ったことは特に楽しかったです。

4. 今後も「子ども☆ミライ会議」に参加したいと思いますか。

- ・参加したい。(14)
- ・是非・もちろん・絶対に参加したい。(5)
- ・出来たら・機会があれば参加したい。(4)
- ・参加したいが、中3になって勉強との両立が心配です。
- ・受験生なので、厳しいかも…
- ・わからない。
- ・高校生でも参加できますか？

学生リーダー・アドバイザーの感想

1. 「子ども☆ミライ会議」に参加した理由を教えてください。

- ・子どもを導いて、子どもの自発性を出すような機会になると感じたため。
 - ・八王子市の子どもの市政参画について詳しく知るため。
 - ・継続して参加していて、引き続き子どもが意見を発表するサポートがしたかった。
 - ・子どもと関わることが多かったため、改めて地元八王子でもそのような行事に参加したかった。
- また、市役所、行政が子どもたちにどのように取り組んでいるのかを知りたか

ったため。

- ・様々な経験をしたいと考えたため。
- ・昨年度まで子ども企画委員として参加していて、今年も学生リーダーとして参加したいと思ったから。
- ・お声をかけてもらったので。

2. 「子ども☆ミライ会議」に参加した感想を自由に書いてください。

- ・時間が限られているため、職員が主に子どもを誘導せざるをえなかったと感じた。学生は職員に配布された資料を通して多くの時間を割いて下準備をされていると感じている。子どもが参加するためにどうすべきかに学びや気づきを得た機会にはなったと思う。
- ・非常に新鮮で興味深い体験となった。
- ・子どもの実際の声を聞くことができ、その感覚を掴むことができた。
- ・今の子どもたちは、自分にできることをしっかり考えていて素晴らしいと思った。
- ・今年は今まで（子ども企画委員だったとき）と立場が違ったので、終始緊張した。来年も参加することになったらうまくまとめられるようにしたい。
- ・小中学生があそこまで考えられるのはすごいと思いました。

3. 「子ども☆ミライ会議」に今後もかかわってみたいですか？

- ・時間が許す限り子どもとの対話は続けていきたい。
- ・引き続きアドバイザーをさせてください。
- ・関わってみたい。（4）
- ・機会があれば。

4. 子どもの意見を尊重し、子どもの声をまちづくりに活かしていく本市の取組についてご意見をお書きください。

- ・取り組みは素敵だと強く思う。しかし、取り組む時間は変えた方が良く考える。休日は家族や遊び仲間と過ごした方が豊かになってよいという考えを持っている。このような取り組みを休日に行うのではなく、日常から関わるようにしたほうが意見を出すことへの特別感はなくなるかと思う。
- ・子どもの意見を積極的に取り入れてくれていると思う。
- ・このようなイベントを今後も繰り返し開催することが大事だと考えます。
- ・子どもの意見を尊重する場をつくることは、子どもにとって希望になる。
- ・子どもならではの意見もあるので、積極的に取り組んでほしい。
- ・もう少し、周知されてほしいです。

- ・他の市町村にも是非アピールしてほしい。

5. 本市では、若者の思いや考えを市政に活かしていくために、意見を聞く機会や語り合える場を創出したいと考えています。どのような機会が考えられると思いますか？

- ・話し合いや対話は慣れで成り立っていくと考えている。そのためには、子どもが大人とかかわろうと思えるようになること、大人も子どもとかかわろうとする気持ちを持つことが大切になるかと思う。既存の場所であれば、市立図書室や小中高などの施設にラーニングコモンズを設けて話し合いが身近にある環境を作ることができると思う。
- ・市長と語る若者向けの場（テーマなので）を用意するのはどうでしょうか。
- ・市役所職員との会話する場など。
- ・イベントの際に子どもが意見を言うためのブースをつくる。
- ・休日に体験イベントを開催し、その終わりにアンケート等をとる。
- ・大学や高校などの若者の多い場所で開催する。
- ・大学内の授業で取り入れる。

6. 市の各種審議会や地域づくり推進会議などに若者として参加してみたいですか？

- ・10年や30年先の長期計画への取り組みに携われるのであればやってみたい。今の社会は目の前の出来事に対する対策が多いと思う。
- ・職場との兼業兼職の手続きとの兼ね合い次第
- ・参加してみたい（4）

14 来場者の声

*アンケートから抽出して記載しています。

1. 八王子市がめざす「みんなで育てる みんなが育つ わたしたちが未来につながる はちおうじ」の基本理念を踏まえ、子どもの意見表明の場の確保や八王子のまちづくりへの参画のしくみとして、毎年、「子ども☆ミライ会議」を開催しています。このような取り組みについて、どのように思われましたか。

- ・子どもの権利条約からの流れで適切だと思いました。
- ・大変よい取組だと思えます。将来この子たちができれば八王子の街づくりに携わってくれたらと思えます。
- ・子ども・若者育成支援センターのご指導・ご支援により、学校を超えて学び、児童・生徒の交流、意思表示の場を作っていただけること、感謝申し上げます。今後も「サードプレイス」の創出をしていただければ、ありがたいです。
- ・兄もお世話になりました。すばらしい企画だと思えます。
- ・子ども達が一生懸命八王子の未来について考え、市長をはじめ大人と真剣に語り合う、素晴らしい取組だと思えます。
- ・とてもよい企画です。親子で八王子の日本遺産について話す企画をもつことができました。会議を通して海外の方にも知ってもらいたいなと思えました。
- ・子どもたちや参加する全ての人に、改めて八王子について考えてもらえるとても良い機会だと思えます。子どもの素直な意見がとても興味深いと思えました。

2. 今年度の子ども☆ミライ会議は、「日本遺産フェスティバルin桑都・八王子」に合わせて行われ、大きなテーマとして「私たちができる日本遺産の魅力を活かしたまちづくり」について意見をまとめました。印象に残っている子ども企画委員の意見や提案がございましたら、感想をご記入ください。

- ・子どもが意思決定に参加したいという言葉。
- ・子どもの視点で全てよかったです。
- ・(自分たちのことで申し訳ないですが) 自校の児童が活躍していることをとてもうれしく思いました。
- ・八王子城の整備についての提案。私も実際に登ったことがありますが、道がわかりにくく迷いました。ですが、頂上の景色は高尾山に引けをとらないものでした。ぜひ、もっと多くの人に体験してもらいたいです。
- ・各グループ、しっかりと準備して臨んだことが伝わってきました。今年は、日本遺産フェスティバルという大きなイベントとタイアップさせていただき、

貴重な経験になったと思います。

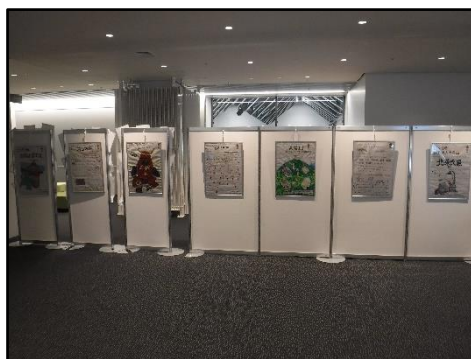
- ・体験を設けること。高尾山のガイドなど。
- ・八王子をもっとPRしていくということを子どもたちが考えていることと、大人では違いがあると思うので、子どもの意見やアイデアなどを取り入れていくといいと思いました。

3. 何か気が付いたことなどありましたら、ご記入ください。

- ・ご準備ありがとうございました。
- ・（意見は様々あると思いますが）企画やメンバーの名前に「子ども」をつけることに個人的に違和感があります。「子ども」を大切に、そして「真ん中」にする趣旨は大切だと思います。一方で「子ども」が人間として対等であるのなら、「子ども扱い」しないことも大切だと思います。しっかりと意見をもっているメンバーですので… 今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・例年に比べ、ホワイトボードの利用など、子どもが参加する場面が多く、和やかな雰囲気で行っていたと思います。
- ・このような子どもが参加、意見できる企画をたくさんあったらいいですね！
- ・八王子の良さをとても感じられるとても良いイベントでした。

15 子どもによる意見表明の各センター（旧児童館）の取り組みの様子

今年度の子ども☆ミライ会議のテーマ「私たちができる日本遺産を活かしたまちづくり」に合わせ、「日本遺産 霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」のストーリーを語る上で欠かせない構成文化財について、八王子市内の各センターでPRポスター作りをしました。



作ったPRポスターは、令和5年（2023年）11月5日（日）に行われた「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」会場内のホワイエに掲示しました。



（1）ポスター制作

- ①各センターで実行委員（小学生～高校生世代）を募集。
- ②構成文化財 30 件の中から決められたテーマについて、実行委員が構成やイラストを検討して制作。

（2）ポスター掲示

- ①「子ども☆ミライ会議」当日、東京たま未来メッセ3階ホワイエに掲示。その後、各センターで掲示。



浅川センター



館ヶ丘センター



南大谷センター



(3) 各センターでの取り組みの様子

小学2年生から高校生世代の子どもたちが実行委員としてポスター制作に取り組みました。それぞれのテーマについて「ポスターを作れるほど、詳しく知らない」という声が多く、インターネットやパンフレット、写真などからイメージを膨らませていきました。

センターごとにポスターの構成は様々で、色鉛筆やペン、ちぎり絵（色紙をちぎって貼り付け、絵をつくる）を使って文化財を表現し、微妙な色の違いにこだわったポスターもありました。また、文化財の場所や行き方、どのような景色が見られるかなどの説明を書いたポスターもありました。実行委員の子どもたちの自由な発想で、バリエーションに富んだポスターができました。

中野センター



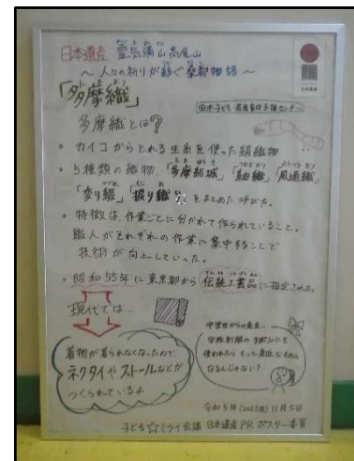
中郷センター



北野センター



由木センター



松が谷センター



元八王子センター



川口センター

